

さぬき市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況

【推薦(個人推薦及び法人・団体推薦)】

受付番号	氏名	年齢	性別	職業	経歴	推薦を受けた者			推薦をした者	
						耕作面積 作物 農業従事日数等	認定農業者 該当・非該当	農業委員 への応募 状況	氏名	推薦理由
1	古市 諭	67	男	農業	約9年間農業従事 現JA石田支店運営委員	12a 青ネギ・なばな 約280日	非該当	なし	阿部 正幸	地域の農業に精通している。
2	富田 典子	68	女	主婦	S45年志度商業高等学校卒業 S48年岩瀬商事(株)退社 S48年香川県農協入組 H19年香川県農協退職 現四国大川地域女性部部長	水田48a 10日	非該当	なし	佐藤 恭一	女性人材の登用
3	長町 正人	44	男	農業	S63.3天王中学校卒業 S63.5~H3.10 土木作業員 H3.10~H24.12 トラック運転手 H25.4~農業	530a ブロッコリー、メロン、オクラ、水稻 250日	該当	なし	土地改良区 理事長 鈴木 登美雄	神前地区の若い認定農業者である。
4	岡谷 博	74	男	農業	S39.3香川県立石田高等学校卒業 S39.4~H12.4鴨庄農協、大川北部農協、香川県農協勤務 H17.1~H19.12人権擁護委員 H29.7~農地利用最適化推進委員	31a(青ネギ5.0a) 100日	非該当	なし	野崎 市松	信頼出来る人です。
5	安西 俊博	67	男	農業	大阪工業大学建築学科卒	ニンニク35a ブロッコリー50a 220日	非該当	なし	安松営農組合 安西 伸二	地域の圃場環境並びに自治会内の状況によく精通されている。
6	長田 祐二	69	男	農業	平成15・16年度下屋自治会(72戸)の自治会長 平成16年~現在 さぬき市民生児童委員	自作地110a 稲作 中心の農業経営 (30才のとき、木工業を立ちあげ、それ以降兼業農家として活動している。) 地区の高齢者が農作業できなくなり、耕作放棄地となっている農地を地域5人に働きかけ、協同管理組織を立ちあげ、その責任者を務めている。	非該当	なし	下屋・菰ヶ池水利組合 組合長 森川 康生	地域の農業に対して、理想をもって農業をしており、米作付にも熱心に取り組んでおり、水利組合の代表として推薦します。
7	池田 幸嗣	66	男	農業	60歳で定年退職。その後、農業に専念し、現在に至る。 推進委員(小田地区)として活動中。 志度ふれあい市運営協議会代表	約30a なばな、オクラを農協に出荷。その他多数の野菜を栽培し、ふれあい市などで販売。 約300日	非該当	なし	植村 竹内 山本 伸司 哲夫 守夫	農業に関する識見があり、農地等の利用の最適化に熱意を持っている。
8	寒川 孝志	64	男	農業	S51.3高松工業高専電気工学科卒業 S51.4伸興電線(株)入社 H9.4父親死去に伴い農業を引き継ぐ H29.6農地利用最適化推進委員に就任 H29.8退職 H30.7 認定農業者となる	約660a(水稻約320a、麦約190a) 約300日	該当	なし	山津 敬治	農業に真剣に取り組んでおり、農地を守るには最適の人です。

9	多田 勉	78	男	農業	S35.3高等学校卒業 S38.2大川町役場 H14.3退職 H26.7～H29.7 さぬき市農業委員 H25.4香川県農業共済組合評 価委員 現在に至る	水田74a 畑6a 水稻60日	非該当	なし	六車 幸一	富田中地区・寒川地 区についての農地事 情等に精通している。
10	小山 一男	73	男	農業	S40.3石田高校卒業 家業の農 業に従事しS47日本通運に入 社 H22.9退社後農業に従事する H26～28水利組合総代 令和2年度末西自治会長	142a(自作地 50a、小作地20a, 借入地72a) 水稻125a、家庭 菜園17a 250日	非該当	なし	廣瀬 徹	ここ数年、耕作面積を 着実に増やしてきて る。末大池の水利組 合の総代の経験もあ り地区の水利事情に も精通している。2020 年4月より、末西地区 の自治会長を努め る。
11	佐々木 洋昭	71	男	農業	2012年～2014年の3年間農業 委員会に在籍	水稻74a、野菜 30a 200日	非該当	なし	在塚 員夫	米作、野菜等、農作 物の生産と農地利用 に積極的に取り組ん でいます。このような 方が委員となることは 今後の農地行政に必 要と思われる所以推 薦する。
12	岸下 甫	77	男	農業	元農業委員 元推進委員		非該当	なし	さぬき連合自治 会 鴨部支会 会長 藤井 悠平	農業委員、推進委員 と経験が豊富だから。
13	藤井 景治	64	男	農業	1期推進委員	60a 米 50a ブロッコリー 他	非該当	なし	さぬき連合自治 会 鴨部支会 会長 藤井 悠平	推進委員、元JA職員 と経験が豊富だから。
14	戸田 修治	70	男	農業	S43.3 県立木田高等学校卒業 S43.4 株式会社ナイバ入社 H17.3 同上退職	1.0ha(水稻0.8ha) 60日	非該当	なし	藤澤 明	地域農業に関わる事 に協力、貢献してい る。
15	蓮井 司	66	男	農業	香川県立農業経営高校卒	水稻 110a 300日	非該当	なし	江崎 雅典 植松 文士	事業農家であり、地 域農地も知っている。
16	石川 智治	77	男	農業	H14～現在 さぬき市図書館協 議会委員 H22～現在 JA総代 H23～H29 農業委員 H29～R2 農地利用最適化推 進委員	80a 米 200日	非該当	なし	上野 壽雄	地元の地理を良く知 り、信頼厚く、委員と しての長い経験があり 適任者である。
17	行梅 義照	68	男	農業	H22.5JA香川県退職 H22.6～R1.6香川県農協経営管 理委員 H22～H29.7さぬき市農業委員 H29.7～現在さぬき市農地利用 最適化推進委員	120a 水稻 180日	非該当	なし	上野 壽雄	地元の地理を良く知 り、信頼厚く、委員と しての長い経験があり 適任者である。
18	比貝原 孝博	70	男	農業	S45大川農協(現JA香川県)入 組 H17JA香川県退職 H18～農業従事 現農地利用最適化推進委員	10,400m ² 水稻、野菜等栽 培 180～200日	非該当	なし	山田 義秋	適任
19	六車 重規	70	男	農業	S48.4～H22.3 中学校教員(校 長) H22.4～H25.3 少年育成セン ター	34a 稻作、野菜 約200日	非該当	なし	大山 博美	教員中にも親の手伝 いをし、退職後も水稻 及び野菜の栽培し、 農業に対して熱意を もっています。

20	半田 祐規	32	男	農業	酪農学園大学卒業後専業農家	約1.2ha 水稻、ニンニク、 自然薯	非該当	なし	松岡 浩二	この地域の農業において中心的存在であり、将来の南川地区を考える人物である。
21	松岡 勝	71	男	農業	S42.4 日本国有鉄道入社 H19.9 JR四国旅客鉄道退社	195a 水稻、野菜 250日	非該当	なし	松木 國彦	人物ともに大変信頼できる方だから。
22	細川 和美	68	男	農業	S50.4 大学卒業 みなど銀行 入行 S55.10みなど銀行退行 S56.4 香川トヨタ自動車入社 H28.5 同社退社現在に至る	田29.0a 畑 3.2a コシヒカリ(田)、 自家野菜(畑) 200日	非該当	なし	寒川 巧	農家の実情を良く相談にのり、後継問題等を解決し、委員として適している。
23	金藤 壽彦	66	男	農業	S47.4 香川県信用組合に入組 H26.2末 香川県信用組合定年 退職 H26.3～専業農家として農業に 従事	150a(水稻130a、 野菜20a) 300日	非該当	なし	寒川 巧	農家相談を積極的に受け、専業農家として毎日農業をしている。最適である。
24	藤井 一夫	72	男	農業	S41.3 県立津田高校卒業 S41.4 香川大学文部事務官 H19.3 香川大学文部事務官退 職 H19.4 家業(農業)に従事	9.4反(作付7.3 反) 米	非該当	なし	秋友 忠	親切な相談支援が期待できる。

【応募(自ら応募した者)】

自己推薦をした者									
受付番号	氏名	年齢	性別	職業	経歴	耕作面積 作物 農業従事日数等	認定農業者 該当・非該当	農業委員 への応募 状況	応募の理由
1	池田 権夫	80	男	農業	S33石田高卒 消防団員(20年) 保護司(19年) 民生委員(9年)	60a 水稻、露地野菜、 花苗 270日位	非該当	なし	現在推進委員をしており、引き続き関わっていきたい。
2	多田 正憲	76	男	農業	元農業委員(2期)	40a 水稻、青ネギ	非該当	なし	農地の適正化3条、4条、5条等で周囲の農地に対して耕作することができないようにならない事を確認するため。
3	栗尾 和弥	43	男	農業	2011～2012年就農 現在に至る	水稻70a ニンニク30a ブロッコリー70a ナバナ10a その他作物5a 300日以上	非該当	なし	地域農業に貢献するため
4	林 文夫	67	男	農業	H26.7～さぬき市農地利用最適化推進委員 H30.4～三ヶ池水利組合(津村地区総代) H10～父死亡後兼業農家 H25.3香川県教育委員会事務局定年退職 H25.4～社会福祉法人さぬき恵寿会	1ha 稻作(コシヒカリ、 ヒノヒカリ) 250日	非該当	なし	平成26年7月から第1期のさぬき市農地利用最適化推進委員を3年弱勤めて分かったことは、農地の売買や耕作放棄地の増加が目立ち、志度地区の農業の先行きに不安を一層募らせることになったことである。農業を継続しながら、引き続き委員として、志度地区の農業のありかたを考えつつ農地の維持に向けた魅力ある地域づくりに貢献していきたい。
5	山下 加代子	69	女	農業	農地利用最適化推進委員	171.88a 稻、にんにく、オクラ、ナバナ、里芋、ネギ 200日	該当	なし	放棄地が増え耕作者が少くなり、高齢化が進んでいる今日において3年間活動してきて、もう少し活動してみたいと思い応募しました。
6	佐藤 登	71	男	農業	S47.3愛媛大学法文学部法学課卒業 同年4月百十四銀行入行。白鳥、高知、坂出、三本松、玉野等各支店に勤務し、得意先課長、融資課長等歴任。 H2.10 高知支店の取引先に3年間出向、工場建設の資金調達業務に従事した。 H18.10百十四ワークサポート(株)に転籍、担保不動産評価業務に従事した。 H24.4(独)中小企業基盤整備機構に契約社員として入社。債権管理回収業務に従事。H29.3退職 H23より父に代わり農業に従事。水稻(コシヒカリ)の単作経営。農地の維持管理に努めている。	65a 水稻(コシヒカリ) 90日 米のみの単作経営 農地の維持管理を主体としている。 自家消費分以外は、業者、知人等に販売している。	非該当	あり	今農業は大きな分岐点に立たされております。基盤となる農地の最適化利用、集約等は今後の農業の将来を決める大きな要因の一つであると思います。銀行等の勤務を通じて得られた不動産に関する知識も生かし、第三者の立場として農地の最適化利用の推進業務に携わり、地域農業の発展に少しでも寄与したいと思っております。また、併せて農地を含む土地の有効利用の推進を通じ、地域活性化にも貢献したいと思い、農地利用最適化推進委員に応募したものです。